

ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成活動報告書(平成29年度)

活動テーマ	<input type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input checked="" type="checkbox"/> 世代間の交流を進める活動 <input type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	地域の活性化・多世代交流～子ども達の健全な育成をしよう～「ゆうゆう見守り隊～ゆうゆうふれあい食堂」		
団体名	特定非営利活動法人ウイッシュ・プロジェクト (平成 16 年 1 月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	368,406 円		
助成額(当初交付)	410,000 円	助成額(決算)	291,002 円
活動目的	高齢者施設であるゆうゆう館を拠点として、人と人を繋ぐ多世代の交流を目的とした「ふれあい食堂」の実施をします。地域でボランティアを募り、食事作りに協力していただき食育を学ぶと共に、地域や区内区外への発信となるようにするために地域でコミュニティを深め、地域での子育て等について共に学ぶ事ができるような講座を開催します。		

1 活動の実施状況

*** 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。**

実 施 状 況	<p>1. ゆうゆうふれあい食堂講座 毎月第1日曜日 10時30分～12時 場所: 全てゆうゆう井草館</p> <p>◎座談会拡大版 7/23(日)10時30分～12時30分 参加者: 講師4名(杉並区社会福祉協議会1名、ゆるゆるママ1名、西荻寺子屋食堂1名、パルシステム東京1名) 高齢者8名、保健福祉部1名</p> <p>◎食育・個育て講座 9/10 参加者: 講師2名、高齢者10名、 10/8 参加者: 講師2名、高齢者13名、 11/12 参加者: 講師2名、高齢者10名 12/10 参加者: 講師3名、高齢者10名 1/14 参加者: 講師2名、参加者7名 2/11 参加者: 講師3名、高齢者5名 3/11 参加者: 講師3名、参加者6名</p> <p>2. ふれあい食堂イベント 毎月第3水曜日 場所: 全てゆうゆう井草館</p> <p>◎一緒に餃子作り 7/19 16時30分～19時 参加者: 講師1名、大人7名、子ども5名</p> <p>◎ワイワイ卓球 9/20 17時30分～18時30分 参加者: 大人3名、子ども3名、</p> <p>◎デコレーションアート 10/18 17時30分～18時30分 参加者: 講師1名、大人8名、子ども3名</p> <p>◎クリスマスリース 11/15 17時30分～18時30分 参加者: 講師1名、大人7名、子ども2名、</p> <p>◎一緒に作ろうホットケーキトッピング・手巻き寿司 12/20 16時30分～19時 参加者: 大人9名、子ども5名</p> <p>◎イースターリース 1/17 17時30分～18時30分 参加者: 講師1名、大人7名、子ども7名</p> <p>◎楽器演奏会 2/21 18時～19時 参加者: 講師1名、大人12名、子ども9名</p> <p>3. ふれあい食堂 毎月第3水曜日 15時～食事作り 16時30分～ 場所: 全てゆうゆう井草館</p> <p>◎4/19 カレーライス 参加者: 大人6名、子ども5名 ◎5/17 ハンバーグ 参加者: 大人7名、子ども10名、</p> <p>◎6/21 カレーライス 参加者: 大人8名、子ども7名 ◎7/19 餃子 参加者: 大人7名、子ども5名、</p> <p>◎9/20 ハンバーグ 参加者: 大人7名、子ども3名 ◎10/18 カレーライス 参加者: 大人13名、子ども5名、</p> <p>◎11/15 ハンバーグ 参加者: 大人12名、子ども2名 ◎12/20 手巻き寿司 参加者: 大人14名、子ども5名、</p> <p>◎1/17 カレーライス 参加者: 大人13名、 ◎2/21 コロッケ 参加者: 大人18名、子ども9名</p>

活動名	地域の活性化・多世代交流～子ども達の健全な育成をしよう～「ゆうゆう見守り隊～ゆうゆうふれあい食堂」
-----	---------------------------------------------------

2 実施活動の効果・成果

* 助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<p>◎ふれあい食堂講座・イベントを毎月実施した事で、広く地域の皆さまへ「ふれあい食堂」とその目的を理解していただく事ができました。</p> <p>◎ふれあい食堂講座では、地域での関わり方について自分たちに何が出来るのか?を考えていただく良い機会になりました。お金や商品券、食品等さまざまなご寄附だけでなく、一人暮らしの方やご近所に住んでいるお子様へ「ふれあい食堂」にお誘いいただく事も関わり方の一つである事を理解していただきました。</p> <p>◎食育では、栄養士の方が作った料理の試食や、楽しく一緒に作る企画もしました。その時参加された方が、同じメニューをふれあい食堂イベントで子ども達と一緒に作るようになりました。</p> <p>◎ふれあい食堂イベントでは、めずらしいアンデスの楽器演奏も取り入れましたが、子ども達が音楽にあわせて踊り出す姿や、それを見守る高齢者の方の姿が印象的で、講師の方から映画の「三丁目の夕日」のようだと喜んでいただいた企画になりました。</p> <p>◎講座に参加して下さった方が、食堂の食事作りボランティアを希望して下さいました。</p> <p>◎寄付のお申し出が多く、館内へ募金箱を設置しました。</p> <p>◎ご寄付をいただいた分を「ふれあい食堂食事券」として、子ども達への無料食事券として4月より配布する事を検討し、ご理解いただきました。</p> <p>◎高齢者の方は、ご自分たちが活動をした事が助成金として有効に使われている事にも満足されました。</p> <p>◎杉並区内の「子ども食堂ネットワーク連絡会」へ参加をさせていただき、リーフレットやポスターを作成しました。</p>
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<p>ふれあい食堂の周知を行って来ましたが、まだまだ十分ではありません。児童への周知は併設館である児童館を通して出来ましたが、中学生や高校生への周知が課題です。リーフレットの配布や活用を行っていきます。しかし、施設設備の関係上、20名の定員を増やす事も難しく、今後参加者が増えた時に工夫が必要になってきます。4月より近隣の養護施設のシスターがボランティアを希望して下さいっており、少しずつその子供たちの参加も受け入れられることを検討したいと思っています。</p> <p>今後も引き続き地域への周知を行うために、年1～2回のイベントや講座の実施や法人の受託した他の館でも実施が出来るように検討をしております。</p>

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

	予算額(円)	決算額(円)	内訳	
収入	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金	410,000	291,002	
	団体負担金	95,680	56,028	
	活動収入	72,000	26,400	参加費(ふれあい食堂のみ)
	その他の収入			
	計	577,680	373,430	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)	内訳・増減理由
	謝礼金等	360,000	260,000	講師謝礼10,000円×26名 講座は4.5.6月に予定していた講師との都合が合わなくなり、関係者で実施したため、謝金が発生しませんでした。 イベントでは謝礼なしのボランティアが4回ありました。
			うち 助成額 260,000	
	消耗品費	20,000	12,370	蒸し器 食器、カトラリーの購入予定でしたが、地域の方からのご寄付で賄えました。
			うち 助成額 12,370	
	旅費 ・交通費	72,000	2,000	ボランティア1,000×2名 殆どの方が無償で来て下さいました。
			うち 助成額	
	印刷費	14,500	10,800	ちらし200枚×12カ月×@4.5
			うち 助成額	
	通信運搬費	8,200	164	切手代82×2 切手代に使用する予定でしたが、自治会の方々の協力や交換便などを利用して公共施設などへ配布できたこと、「子供食堂ネットワーク」に参加したことで、発送料が不要になりました。
		うち 助成額		
使用料・賃借料				
		うち 助成額		
備品費	20,980	18,632	フードプロセッサー 当初調べた時の金額より安くなりました。	
		うち 助成額 18,632		
その他の経費	82,000	69,464	イベントの材料や講座内での試食の材料費など JAや生協、地域の方から食材や調味料などご寄付をいただく事ができました。	
		うち 助成額		
計	577,680	373,430	執行率 (決算額/予算額) 64.6%	
		うち 助成額 291,002	予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること	

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
	<input type="checkbox"/> 適切であった <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。
	初回から最後まで参加をした方が多く、食を通じて地域活動、貧困などについて地域で何が出来るかを一緒に考えて下さいました。この1年間生協、JAなどの企業や地域活動団体、社協などの行政との繋がりも出来ました。また、ご寄付も企業や近隣の農家、利用者の方々からいただくことができ、食堂への理解が深まりました。
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がりましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 広がった <input type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input checked="" type="checkbox"/> 広がらなかった ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。
	講座は座談会形式でしたので、参加者の方から意見がたくさん出ていました。講師の方からは、参加者だけでなく講師自身も勉強になった、いろいろな意見の出る勉強会は今後も続けてほしい、また講座があったから他の機関とのつながりが出来たなどの感想をいただきました。イベントに参加した講師からは、とても良い雰囲気であるため、次は無償でもよいかから来たいとお話もいただきました。また、杉並区内だけでなく、立川のホームレス支援団体や新宿にある暮らしの支援団体との連携も、今後大いに期待できます。
問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。	
区内の子ども食堂への理解が深まり、貢献意識の高い企業が区内の子ども食堂への食材の寄付をはじめました。今後、広く杉並区でどのような協力ができるかを区と検討し始めました。	
問7 助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。	
高齢者の方が、食堂で子ども達と会う事を楽しみにして来て下さるようになりました。小さな食堂ですが、大きな家族のようなふれあい出来るようになってきています。また、近隣の地域活動をしている方を講師として招いたので、講師料が市民活動の財源になると喜ばれ、高齢者の方は、自分たちの活動した事で助成金として使用されている内容を、身近に感じて下さいました。様々な分野の講師を招くことができたため、法人の本来事業である引きこもり支援につながる連携もできました。孤立しがちな若者への就労支援を行う企業とつながったのは、大きな成果といえます。	
その他	助成金をいただき、1年間活動ができた事を感謝しております。毎月実施できた講座やイベントで、参加者の方が少しずつ興味を持って下さり、参考になるご意見をいただく事ができました。また、井草館は、ウイッシュ・プロジェクトの理念に沿った活動をしているとのうれしい言葉をかけてくださった方もおり、ゆうゆう館の枠を超えて理解と協力を得ることができました。多くの方のご協力のおかげで、活動の幅が広がったことを実感しました。

ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成活動報告書(平成29年度)

活動テーマ	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input type="checkbox"/> 世代間の交流を進める活動 <input type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	住む町で気軽に参加しましょう。ライブ&講演会		
団体名	特定非営利活動法人 生きがいの会 (平成 12 年 月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	586,181 円		
助成額(当初交付)	532,000 円	助成額(決算)	422,071 円
活動目的	音楽会や講演会など、ゆうゆう館をご利用されている高齢者の方々の「行ってみたいけど遠い」「行きなれた場所なら安心だけど」「体力的に気重」などのお話をお聞きし、現在ご利用中のゆうゆう館で開催すれば普段着で、気持ちも軽く参加いただけるのではないかと、そしてこのような思いをお持ちの高齢者の方々の社会参加の一助になるのではないかと考えました。		

1 活動の実施状況

*** 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。**

実施状況	<p>①5月6日、ゆうゆう荻窪館で地域の高齢者46名の参加を得て、織笠和美スペイン巡礼の旅講演 ②9月2日、ゆうゆう荻窪館で地域の高齢者21名の参加を得て、平賀進勤めを卒業したら秘境に行こう講演 ③10月15日、松溪ふれあいの家で地域の高齢者38名の参加を得て、高橋進葬儀のこと知りたい聞きたい I 講演、④同じく11月19日24名参加を得てパート2講演、⑤2月18日、松溪ふれあいの家で地域の高齢者14名の参加を得て、小川孝一郎大相撲をもっと楽しむために！ I 講演、⑥同じく3月11日、22名の参加を得て、パート2講演、計6回の講演を行い、すべての講演で好評をいただきました。ライブは、全て有料(参加費500円)でゆうゆう館で実施しました。①7月1日、41名の参加を得て「レイナニヨシエ フラダンス&トークショー」、②11月4日、36名の参加を得て「山本さくらパントマイムショー」、③1月6日、48名の参加を得て若瀬ファミリー「新春三味線・民謡祭」、④3月3日、43名の参加を得て「ひな祭りライブ シャンソン 小林雅子の世界」、計4回のライブを行い講演会同様に高評価をいただきました。参加者皆さんの後押しをいただき、計画通り10回の講演&ライブを実施することができました。(開催回数:ゆうゆう荻窪館6回(ライブ4回・講演会2回、デイサービス松溪ふれあいの家(講演会4回))</p>

2 実施活動の効果・成果

* 助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<p>講演会やライブに参加したい希望を持ちながら、二の足を踏む高齢者が多いとの考えから企画したこの事業は想定通りでした。同世代がほとんどの催しは参加も観覧にも気兼ねがなく、特に地域内での開催は安心して出席できるとして大変好評で、ライブでの「アンコール、アンコール」の掛け声も若々しさにあふれていました。参加者は計画の30名を超える講演会・ライブがほとんどでした。長寿応援ファンドの助成事業ということで、ケア24南荻窪様にもご協力がいただけ、また参加費をワンコイン(500円)に設定させていただき、この入場料も「気軽に参加できる」、「友達を気軽に誘える」、と大好評でした。広告も看板、チラシに力を入れることができましたし、助成金をいただきましたので舞台もそれなりに設営でき、ゆうゆう館ご利用の高齢な方々に個別にお葉書でもお知らせすることができました。このはがき送付は、はがき持参の方、わざわざ欠席をお知らせいただく方など「はがきによる直接かつ個別のつながり」は看板やチラシ以上の結びつきを強め大好評だったと思います。特に「おひとり住まい」の方々には好評であったと思います。以上のように、今回の企画は助成事業としてできたことにより、経費はもちろんのこと、高齢者への参加いざないも積極的・前向きにできました。全体的には高齢者の方々の社会参加に少しはお役に立てたのではないかと思います。</p>
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<p>30年度以降は協働事業として開催を考えています。しかしながら、ワンコインがあまりにも好評で、30年度に入場料倍増(1000円)による収支の維持(赤字にしない)は大変な不評を受けないか心配しています。このため、いかにして入場者数を維持拡大するか、経費の節減と出演者のご理解をどのようにすれば頂けるか考えています。30年度の開催数は、講演・ライブとも未定ですができるだけ多く開催したいと思っています。</p>

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

	予算額(円)	決算額(円)	内訳
収入	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金	532,000	422,071
	団体負担金		80,110
	活動収入	60,000	84,000
	その他の収入		
	計	592,000	586,181

活動名	住む町で気軽に参加しましょう。ライブ&講演会
-----	------------------------

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)	内訳・増減理由
	謝礼金等	138,000	228,000	謝礼金は計画通りの支出となりましたが、事業遂行について内部の人員体制では遂行が難しいことが判明しましたので、6月より平成30年3月までの9か月間当該事業を円滑に行うため業務の一部を外部に委託しました。このため、費用が予算を上回りました。
			うち 助成額 78,000	
	消耗品費	43,000	33,819	ライブの舞台装飾をできるだけ手作りに務め、費用の節減に務めました。
			うち 助成額 33,819	
	旅費・交通費	30,000	18,130	
			うち 助成額 18,130	
	印刷費	108,000	60,217	看板、ちらしの印刷は、安価な通販業者で対応し、ポスターや資料は内作し経費の節減を図りました。
			うち 助成額 60,217	
	通信運搬費	73,000	31,905	主な用途は参加対象と思われるゆうゆう館利用者を中心に「はがき」による案内状で、ライブ4件・講演3件の案内状を作成しました。松溪ふれあいの家での講演会のはがき発信は「大相撲2」のみの対応となりました。ライブの小道具などの費用を見込み運搬費用を計上しましたが使用はありませんでした。
		うち 助成額 31,905		
使用料・賃借料		6,600	ゆうゆう荻窪館使用料が6回発生しました。	
		うち 助成額		
備品費	200,000	207,510	アンプの購入代金です。	
		うち 助成額 200,000		
その他の経費				
		うち 助成額		
計	592,000	586,181	執行率 (決算額/予算額) 99.0%	
		うち 助成額 422,071	予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること	

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。 <input type="checkbox"/> 適切であった <input type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input checked="" type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。
	予定した人数を上回る高齢者に参加していただくことができました。会場はご近所の方々との交流の場ともなり、また地域社会への参加の場ともなりました。またゆうゆう館にお知らせのはがきを持参され参加申し込みをされたり、わざわざ「欠席」をお知らせ頂いた方もあり、ゆうゆう館もご利用者の方々とのつながりを強くすることができました。
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がりましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 広がった <input type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。
歩いて参加できる場所がよかった。疲れなくて楽しめた。誘い合わせて参加した。1時間くらいがちょうどよい。参加者は知った人が多く安心して楽しめた。葬儀の裏話は知らなかったことが多く大変参考になった。津軽三味線は最高だった。シャンソンの楽しさを知った。相撲の話は初めて知ったことが多かった。相撲に一段と興味がわいた。など多くの方々から好意的な声を聴くことができました。i	
問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。	
体力的また精神的に講演会やライブ参加に消極的だった高齢者の方々が、身近なまた安心していける場所で開催されたことにより、多くのこの足を踏んでいた高齢者に講演会やライブの楽しさ面白さを提供できたと思います。また、日常生活より広い地域の人たちと交わることができ、社会参加の楽しさをご実感いただけたと思います。	
問7 助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。	
参加者のほとんどが「長寿ポイント」の受給者であり、「ご寄付」をされているの方々ですので、長寿ポイントの寄付がどのように使われているのか、一部分ですがご理解いただけたと思います。	
その他	問8 自由意見

ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成活動報告書(平成29年度)

活動テーマ	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input type="checkbox"/> 世代間の交流を進める活動 <input type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	「ポールウォーキングをもっと身近に」		
団体名	特定非営利活動法人 杉並さわやかウォーキング (平成 21 年 2 月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	804,590 円		
助成額(当初交付)	495,000 円	助成額(決算)	483,925 円
活動目的	ポールウォーキング(以降略称:PW)の普及にあたり、ネックと思われる以下のような問題点の解消を図り、PWをもっと多くの方に広め、高齢者への認知症予防やフレイル対策などに役立てたい。 ①PW開催場所が遠くて参加できない、もっと近場で実施してもらいたい。 ②自宅でも実践したいがポールがない。買うのに躊躇する(続けられるか迷う) ③PWのことで質問・相談できる人や教えてくれる人が身近に欲しい。		

1 活動の実施状況

*** 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。**

実 施 状 況	<p>①当会(SSW)主催のPW体験会 ・対象者:PWの基本的な歩き方を知りたい方、ちょっと体験してみたい方 ・実施日時、会場と参加人数:4/27善福寺川緑地公園15名、5/25桃井原っぱ公園17名、6/22柏の宮公園23名、9/28緑地公園(雨天中止)、10/26桃井原っぱ公園12名、11/30柏の宮公園(雨天中止)、1/25善福寺川緑地公園(積雪中止)、2/22桃井原っぱ公園7名、3/22柏の宮公園7名 *9回の予定の内、雨と積雪で3回中止、2月と3月の会は開始直前まで雨が降っていて参加者が少なかった。</p> <p>②各種施設とタイアップした「近場でのPW」開催 杉並区内の各種施設・団体にPW講座を提案し、本年度は下記3施設で講座を開催した。その他、2施設から「年度途中の提案で、本年度は既に予定が決まっているので、来年度に実施したい」との回答があった。</p> <p>i. 下高井戸運動場 :5回を1セットとした「初心者のためのPW教室」の開催 ・実施日時と参加者:9/14日5名、10/12日8名、10/26日6名、11/9日3名、12/14日(9/28日雨天中止代替)5名 ・実施会場:下高井戸運動場及びおおぞら公園 ・対象者:16歳以上の区内在住者</p> <p>ii. 上井草スポーツセンター:本年度は今後の集客状況を調べるため場所と曜日を変えて3回の体験会を行う。体験会の実績をベースに来年度に本格的な講習会を予定したいとの事である。 ・実施日時(曜日)、実施場所と参加人数: 9/22(木)上井草SC8名、11/26(日)上井草SC8名、1/14(日)妙正寺体育館7名 *定員10名とし、それ以上の申し込み分は断ったとの事。またキャンセル者がいたため参加者が少なかった。</p> <p>iii. 荻窪地域区民センター:2回を1セットとした講習会を開催 ・実施日時と参加人数:2/14日16名、2/28日19名 *1日目は室内で歩き方の基礎を、2日目は外歩きを実施。外歩きは大変好評であった(梅や旧跡巡りなどで)</p> <p>③仲間づくりとして自主活動グループの立上げを図り(現在1グループ立上)、その活動を支援している。</p> <p>④「PW基礎セミナー」を2回開催し、理解者・支援者を増やした。 *当初「サポーター養成講座」としていたが、何らかの資格と間違えられる恐れがある為、名称を変更した。 ・実施日時と会場、参加人員(参加施設・団体数):7/25西荻地域区民C34名(10施設・団体) 12/14高井戸地域区民C35名(10施設・団体)</p>
----------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 実施活動の効果・成果

* 助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<p>①「近場でのPW」の実施 今期は3施設と提携して、杉並区の南東部、中央部と北西部でPW講座を実施できた。またSSWの提案活動では、今期には間に合わなかったが来期の実施が可能な施設が2つあり、さらにもっと多くの地域で実施する下地を作ることができた。</p> <p>②「PW基礎セミナー」の開催 上記①を実施するための提案活動の際、「PW基礎セミナー」の効果が大きかった。単に提案するよりも、「基礎セミナー」に各種施設・団体の方に実際に参加してもらいPWを理解してもらった上での提案の方が効果がある。更に、その後の講座開催時にも参加者からの問い合わせなどに回答が出来るようになるなど、PWの理解者の養成に効果は大きかった。 また、体験会・講習会参加者の中から数名の方に「PW基礎セミナー」に参加してもらった。今後、自主活動グループの立上げ後の核となる人の養成が図れた。</p> <p>③ポール及び歩数計の長期貸出は、現在まで9人に留まっているが、少しずつ増えてきているので、今後に期待したい。 尚、ポール貸出者に、ポールの購入希望者が増えてきている。</p>
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<p>①「近場でのPW」の更なる拡大について 本年度実施の3施設に続き、来年度は高円寺地域区民C、西荻地域区民Cでも実施予定である。 今後は、阿佐ヶ谷地域や高井戸・久我山地域での実施に向けて提案活動をしていきたい。</p> <p>②「PW基礎セミナー」の開催について PWの理解者・支援者を増やすうえで、PW基礎セミナーの効果が大きいことが判った。本年度限りの予定であったが、できれば来年度も引き続き開催したい。</p> <p>③PW体験会等の後に「毎月でもやりたい」との声があるので、本年度は、1グループしか自主活動グループを立上げられなかったが、来年度はいくつかの自主活動グループの立上を図っていきたい。</p> <p>④長期ポールおよび歩数計の貸出しについて 本年度は、貸出者が少なかった。効果等をもっとPRして、自宅でも実施してもらえるよう貸出し者数を増やしていきたい。</p>

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

		予算額(円)	決算額(円)	内訳
収入	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金	495,000	483,925	
	団体負担金	268,500	187,531	* 全般的に費用の削減化を図った為、負担金減少
	活動収入	216,500	133,134	①体験会:12,400 ②講習会:120,734 (いずれもポールレンタル料含む)
	その他の収入			
	計	980,000	804,590	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

活動名	「ポールウォーキングをもっと身近に」
-----	--------------------

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)	内訳・増減理由
	謝礼金等	16,000	17,818	助成金内訳:PW基礎セミナー講師謝礼金2回分(8,909円*2回) 増加の理由:手取り8,000円として税金分が増額となった。
			うち 助成額 17,818	
	消耗品費	500,820	458,964	助成金内訳: ①貸出用ボールの購入:30組340,200円+振込手数料432円 ②貸出し用歩数計の購入:1980円*45個 ③運搬用袋等購入:ボール用袋6個16,135円+ザック7,388円 尚、ボールの分散化を図り運搬袋6個と小物用ザック1個とした ④歩容調査(歩行速度、歩幅)用メジャーの購入:3,052円 増減理由:各品目の単価が若干安かった。メジャーは追加購入
			うち 助成額 456,307	
	旅費・交通費	293,500	219,375	増減理由: 積雪・雨天で体験会の中止があり、交通費の減となった。
			うち 助成額	
	印刷費	53,000	18,310	増減理由: 各施設とのタイアップ分についてはタイアップ先がチラシ等作成した。また、各費用共通であるが、活動収入の減に伴い費用の削減を図った。
			うち 助成額	
	通信運搬費	30,000		増減理由: ボールの分散化を図ったため(6人に分散)自転車で運べるようになり、ボール運搬費が不要になった。
		うち 助成額		
使用料・賃借料	14,000	11,600	助成金内訳:PW基礎セミナー開催に伴う体育室使用料 第1回:西荻地区区民センター体育室 4,200円 第2回:高井戸地区区民センター体育室 5,600円 増減理由:単価が安い場所の確保できたため	
		うち 助成額 9,800		
備品費				
		うち 助成額		
その他の経費	72,680	78,523	増減理由: コーチ資格更新料が1人分追加になった。	
		うち 助成額		
計	980,000	804,590	執行率 (決算額/予算額) 82.1%	
		うち 助成額 483,925	予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること	

活動名	「ポールウォーキングをもっと身近に」
-----	--------------------

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。 <input type="checkbox"/> 適切であった <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。 <input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。
	①近場でのPWの実施は、本年度は計画通りであり、さらに次年度以降の基礎ができたので充分できたと思う。 ②PW基礎セミナーの開催は、前述の通り十分な効果があり、充分できたと思う。 ③ポールの長期貸出と、自主活動グループの立上は、上記の①②に注力した結果、あまりできなかった。全体を通しての評価は、「ほぼできた」と思われる。
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がり了吗か。
	<input checked="" type="checkbox"/> 広がった <input type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの参加者の声「腰が立って、背筋が伸び、歩幅を広げて歩ける」「ポールを使った正しい歩き方が分かった」 ・足が悪いなどの歩きづらい人の声「私がこんなに歩けるなんて思っていなかった」 ・基礎セミナーに参加した某施設の人の声「PWだけでなくストレッチや筋トレもできるので非常に効果的」 ・某体育施設の人の声「ランニング用外周路をPWにも開放したい」等
	問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。
	主として高齢者の歩行能力の維持・回復の為の一つの方法を提供し、またPWを習慣化させることで各種病気の予防、認知機能の向上などが図れる等々、これから増え続ける高齢者の健康管理対策として地域貢献になる。
	問7 助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。
	PWと接する機会を増やし、初期投資(ポールの購入など)をせずに、手軽にPWを始められるようになった。
その他	問8 自由意見
	助成を受けたことで、より活発な活動ができたと思います。助成による金銭的に、また心理的な効果も非常に大きかった。今後は、金銭面はともかく、ソフト面での(例えば広告等)のご支援を賜われないでしょうか。

ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成活動報告書(平成29年度)

活動テーマ	高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 子ども・若者世代を支援する活動 世代間の交流を進める活動 ✓ 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	傷ついた母親を支えるこころのケア		
団体名	ひだまりママサポートの会 (平成 29 年 月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	433,907 円		
助成額(当初交付)	431,000 円	助成額(決算)	399,907 円
活動目的	妊娠・出産・子育てにかかわる傷つき・喪失体験のフリーケア、傷ついた母親の		

1 活動の実施状況

* 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。

実 施 状 況	《活動日・参加人数・スタッフ》			
	4月27日 こころのケア講座①	3名参加	託児2名	講師1名 託児スタッフ2名
	5月18日 ポコズカフェ	7名参加(内ご夫婦1組)	託児0	講師1名 託児スタッフ1
	5月30日 こころのケア講座②	3名参加	託児3名	講師1名 託児スタッフ2名
	6月29日 こころのケア講座③	1名参加	託児2名	講師1名 託児スタッフ2名
	7月27日 こころのケア講座④	5名参加	託児6名	講師1名 託児スタッフ3名
	8月30日 こころのケア講座⑤	2名参加	託児2名	講師1名 託児スタッフ2名
	9月14日 ポコズカフェ	3名参加	託児0	講師1名 託児スタッフ1名
	9月28日 こころのケア講座⑥	2名参加	託児2名	講師1名 託児スタッフ2名
	10月19日 こころのケア講座⑦	4名参加	託児5名	講師1名 託児スタッフ3名
11月30日 こころのケア講座⑧	5名参加	託児5名	講師1名 託児スタッフ3名	
12月7日 ポコズカフェ	4名参加	託児2名	講師1名 託児スタッフ2名	
12月14日 こころのケア講座	4名参加	託児2名	講師1名 託児スタッフ2名	
1月18日 こころのケア講座	1名参加	託児1名	講師1名 託児スタッフ2名	
2月28日 こころのケア講座	2名参加	託児2名	講師1名 託児スタッフ2名	
3月8日 ポコズカフェ	7名参加(内ご夫婦1組)	託児2名	講師1名 託児スタッフ2名	
3月29日 こころのケア講座	6名参加	託児5名	講師1名 託児スタッフ3名	
.....				
……《こころのケア講座内容》				
①DV・トラウマを理解する ②「世間の枠」と私らしさ ③身体的暴力・性暴力 ④精神的暴力・モラルハラスメント				
⑤トラウマに対応するツール ⑥傷つきによる喪失とグリーフ ⑦境界線 ⑧コミュニケーション				
⑨パートナーシップ ⑩加害者とは ⑪育った環境・子供への暴力の影響 ⑫自尊心				
《周知方法》				
・こころのケア講座のちらし作成・配布(ひだまりクリニック、NPOレジリエンス、グリーフサポートせたがや など)				
・ひだまりクリニックのHP・フェイスブックなどでの告知				
・ひだまりクリニックのチラシに、講座案内を掲載してもらう)				

2 実施活動の効果・成果

* 助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<p>助成を受けた事により、参加費1000円で予定していたものを500円に下げる事ができ、託児1000円から無料にする事で、子どもが2人いてもお金を気にすることがなく、参加することができ、今まで参加を躊躇していた方が参加できた。</p> <p>テーマによって参加者のばらつきがあるものの、必要なテーマが必要な方につながってきていることが感じられた。保健センターから教えてもらいましたという方や、開催場所のひだまりクリニックに関わっていない方の参加もあり、周知が出来てきていることも感じられた。</p>
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<p>1年間予定通り続けてきた講座を、来年度以降も引き続き開催していく。</p> <p>この場所に今後もあり続け今必要ない方でも必要になった時に必要な方につながれるようにしていく。</p> <p>この講座は集客を多くすることを望む活動ではないことから多くの収入も望むことが出来ないため、今後も継続的に助成していただける場を探していくとともに、収入を望める他の活動を考えていく必要がある。</p>

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

	予算額(円)	決算額(円)	内訳	
収入	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金	431,000	399,907	
	団体負担金	5,000	5,000	
	活動収入	48,000	29,000	参加費500円 ✕ 58名
	その他の収入			
	計	484,000	433,907	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

活動名	傷ついた母親を支えるころのケア
-----	-----------------

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)	内訳・増減理由
	謝礼金等	256,000	259,000	講師謝礼金10000円✕16 託児保育士3000円✕33名託児
			うち 助成額 259,000	
	消耗品費	79,000	47,247	インク21437円 用紙3108円 アートワーク材料費20444円 その他2258 (インク費用が予算よりも安く済んだため予算額との相違がでた)
			うち 助成額 44,907	
	旅費 ・交通費	53,000	31,660	講師交通費810円✕12 1600円✕4 託児保育士410円✕ 33 スタッフ講座告知420✕4
			うち 助成額	
	印刷費			
			うち 助成額	
	通信運搬費			
		うち 助成額		
使用料・賃借料	96,000	96,000	講座室・保育室使用料6000円✕16回	
		うち 助成額 96,000		
備品費				
		うち 助成額		
その他の経費				
		うち 助成額		
計	484,000	433,907	執行率 (決算額/予算額) 89.7%	
		うち 助成額 399,907	予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること	

活動名	傷ついた母親を支えるころのケア
-----	-----------------

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	目的どおり実施できた
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	実施できた ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
	予算内での実施ができた
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。 充分できた ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。 講座のテーマにより、参加者のばらつきはあるものの、継続的に参加してくださる方や、地域のかた、また保健センターから聞いてきたなど参加くださるかたがいらっしやっていた。流産・死産経験者の会では、地域外、県外からの参加者もいらっしやっていた。このような場がないことが感じられ、継続していくことの大切さを感じている
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がりましたか。
	今後も広がる努力が必要だと思う ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。 自分の生き方を見直した。講座内容が自分が求めていたものだった。辛い思いをしたのが自分だけではないと思えた。などの声が
	問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。
	地域で子育てをしている母の生きずらさや、辛く悲しい出来事などのグループにより、子育て困難になることを支援し、今後もグループを抱えた時に来ることができる場があるということが地域貢献になると思う
問7 助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。	
	参加費を低く設定することができ、託児料金を無料にすることで、子どもが何人いても、経済的に厳しい家庭の方も、誰もが参加しやすい環境が整えられた。また信頼できる保育士資格のある人に託児を依頼することが可能になったため、参加者も安心して講座に参加ができた
その他	問8 自由意見

ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成活動報告書(平成29年度)

活動テーマ	高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 子ども・若者世代を支援する活動 世代間の交流を進める活動 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	知る・見る・つなげる・久我山サクッとMAP活動		
団体名	久我山ホテル会 (平成 28 年 月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	994,966 円		
助成額(当初交付)	973,000 円	助成額(決算)	973,000 円
活動目的	高齢者や障害者の目線で地域情報を「見える化」し 生活の活性化、社会参加を促進し地域連携を作りだす。		

1 活動の実施状況

*** 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。**

実 施 状 況	<p>●年間通した活動実績 298名 事前会議 5月19日 ゆうゆう久我山館 11名 協力要請 6月～7月 地域委員町会他・・・ケア24久我山会議時 地域小学校中学校・・・訪問 ゼンリン(株)企業紹介からメール依頼をする 実踏調査:全7回(1回悪天候のため中止するもその後担当が実施)と参加者会議 ①8月24日 久我寺10名 ②9月16日 ケア24久我山14名③9月20日 セコム久我山12名 ④9月28日 西松会館10名⑤10月5日 久我寺20名⑥10月11日 久我山南自治会 11名 ⑦10月19日 北烏山地区 久我山病院雨天中止 その他運営会議 地域連携会議 8町会・2商店会・社会福祉事業者浴風会・杉並区立富士見丘中学校・同久我山小学校・同高井戸第二小 学校・学校支援本部会議に随時出席。 事前説明会・2回(地域対象・富士見中学校対象)</p> <p>作成委員会:全10回(調査方法の検討・周知・報告・資料写真白地図原稿作成) 専門家同席による打合せ会議:4回 1月～2月 白地図情報のまとめ。 事業成果報告会 3月6日 久我山小学校 3月28日 30年度ホテル会活動会議 事業清算報告 交通費その他清算。 4月・・・協力者団体地図配布 引換券方式 配布案内・協力事業者を選定。</p>
------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 実施活動の効果・成果

* 助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<p>①助成事業の目的理解を周知した事による団体活動の周知ができた</p> <p>②閉じ困りがちな高齢者への対応や認知症の増加、災害時避難対処 など今後必ず起こりうる多様な地域課題があることを地図活動を通じて会員が訴えた事によって、地域連携の重要性や身近な支援者相談者の必要性を住民が理解し自主的な活動を行う意欲を向上させた。</p> <p>③学校や企業・公益団体など立場の枠を超えて住民と一緒に活動した事で一地域団体としての存在が認識された。</p> <p>④同じ地域の調査時など新旧住民同士の出会いなど多くの出会いの場にもできた。</p> <p>⑤成果物は助成金による「本物」の地図ではあるが、作成作業や周知、配布作業、利用イベントなど通年活動運営をしてきた事により地域人材発掘や地域を見直すきっかけ作りにもなった</p> <p>⑥地域を見直しにより生活意欲が向上した。</p> <p>⑦世代の違い障害の有無など様々は地域住民の声をまとめる過程で価値観を共有できた。これらの変化をより多くのかたにも伝えつつ「共生社会の構築という大きな課題にむけ、今後も地域の身近な人々とともにホテルの様な小さなあかりをいっぱい照らす事ができる団体として活動をつづけていく。</p>
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<p>当初の計画では28年12月いっぱいには地図原稿をまとめ上げる予定であったため2月3月での利用イベントまでを助成基金を利用し活動する計画であった。が想像以上の地域の広がりを見せ、個別に寄せられた情報処理まとめに時間を要した事や利用対象者への希望を組み込む事で原稿ゲラが2月までずれ込んだ。結果イベントを年度内に行う予算や日程が取れなくなってしまった事は反省点である。</p> <p>4月からは地図配布の配布を開始する。作成参加協力者全てに「地図引換券」つき事業報告を配布。配布場所としてホテル会員の事業所なやケア24や地図掲載のお店なども引き換え配布所としていく。</p> <p>地図引き換えで訪問する形をとることでまた新しい出会いの場と設定できる形とした。</p> <p>今回民間福祉事業者がそれぞれの利害を加味せず地域団体として参加した事は今後の地域連携共生社会構築にむけて新たな一歩となったと思う。</p> <p>同じ目的のために協働活動した事が起爆剤となり、住民の活動意欲を引き出した事も大きな成果であり次年度に続く結果を残せた。今後当団体は住民、福祉事業者の新規参加が見込まれており、30年度はさらに地域の声拾った活動を新たに設定したと思う。当初計画したウォーキングイベントなどは住民が率先して運営に係わってくることになったので支援協力していく事となる。この様にホテル会が住民や団体の自主的な活動を支えその牽引団体に成長し地域連携を強化することが目標となった。</p>

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

		予算額(円)	決算額(円)	内訳
収入	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金	983,000	973,000	
	団体負担金		1,939	
	活動収入	175,000	20,000	完成地図販売 500円×40部
	その他の収入		27	銀行利息
	計	1,158,000	994,966	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

活動名	知る・見る・つなげる・久我山サックとMAP活動
-----	-------------------------

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)	内訳・増減理由
	謝礼金等	96,000	24,000	地図指導担当ゼンリン(株)より指導料の請求がなくなった調査を丹念にした事による完成の遅れによりウォーキング講習会など年度内の実施が不可能となり謝礼支払いがなかった。写真家岡田氏の調査参加及び報告ppt作成指導者謝礼が印刷現像/PPT報告全てを費込の金額して予算減。
	うち 助成額		24,000	
	消耗品費	65,000	2,002	購入予定の歩数計・・会員(セコム寄付)名札ケース(ケア24貸与)目印(バンダナは名札で代行)地図ソフト(ゼンリン協力により購入せず)最終的に調査用白地図記載用筆記具のみ購入し予算減。
	うち 助成額		2,000	
	旅費・交通費	72,000	28,500	ゼンリン(株)交通費受領拒否・写真家(岡田)交通費込になった為減額。
	うち 助成額		28,000	
	印刷費	840,000	939,600	当初の計画より中身の充実と地図サイズの大型化により増額。事務局保管用と調査用白地図を読みやすいA2サイズにした為、A2サイズの調査用白地図コピーを印刷会社に依頼増額した。
	うち 助成額		919,000	
	通信運搬費	45,000		地図データー無料アプリ使用し減額 参加者連絡は事務局直接配布し減額
うち 助成額				
使用料・賃借料	30,000		地図作成に時間を要したためその他イベント実施せず減額	
うち 助成額				
備品費				
うち 助成額				
その他の経費	10,000	864	電信支払い手数料	
うち 助成額				
計	1,158,000	994,966	執行率 (決算額/予算額)	85.9%
		うち 助成額	973,000	予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。
	計画時には地図ソフトなどの購入により専門家指導は仰ぐものの、基本的には掲載する最終原稿はソフトなど利用し自作する計画であった。しかし、地域高齢者や町会等利用する地域住民への聞き取りにより、多様な地域情報の掲載要望を受け、原稿作成に予想以上に時間を要してしまった。地図(成果物)の完成度はましたが、作成時間が大幅に増え、完成地図を利用したイベント実施までが、指定年度内実施できなかった。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。
	↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。
	3段階の達成計画だったが、第2段階完成地図利用イベントが実施できなかった事は反省点である。しかし、第1段階「地域をつながり作り」を目的とした、住民の地域調査や原稿作成は予想以上に賛同参加を得て充実したものとなった。よって「地域を見直す機会」「子ども達のボランティア意欲や高齢、障害者理解を深め教育的効果」もあげられた。第3段階最終目途「つながりあう地域構築」は第1段階をもって充分達成できた。第3段階は次年度持ち越しとなったが「地域を見直す地図」と「目覚めた住民達」というこの「活動成果」は住民の自主的な活動の起爆剤や地域連携を強化につながる実感を得て終了できた。
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がりましたか。
↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。	
	要望調査の折、高齢者の賛同だけでなく家族、支援者からも「閉じこもりがちな高齢者の問題解決策に役立つ」と言う積極的な同意と協力意思が寄せられた。要望に応え住民含めた地域調査では福祉事業者や町会関係者、高齢者団体などが活動を共にし「普段の道も改めて歩いてみると新たな発見があり、知り合いにもなれ、楽しく行えた。」との声を頂いた。中学生からは「農地が多くてびっくりした」「世田谷区と杉並区がくっついていた」と高井戸地域の特徴と区境地域を実感したとの声があった。地域むけ報告会では「地図を利用しウォーキングなどを実施予定」「最終版にせず情報増やしてより良く継続しよう」との声があった
	問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。
	「知る・見る・つなげる」の活動貢献:「知る」・福祉事業者や団体、住民が互いの知り得る地域や高齢者の情報交換しあう事によって、地域の高齢者実態を正確に理解し実情を「知る」ことができた。その情報を基に、調査ワークでは立場や感性が異なる目線で多角的に地域を「見る」事ができ問題の発見や地域を見直す事ができた。「つなげる」・・・「自分たちの街の地図を自分たちで作る」という実感は「楽しくいつまでもこの街でくらす」という意欲へとつながった。「地域理解」「生活意欲の向上」「個人、団体、福祉事業者など多面的連携」などの活動成果が自主的な活動へと発展する起点となった事がこの事業の一番大きな地域貢献であろう。
	問7 助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。
	専門企業や地域団体への協力要請時に事業の目的や予算を明確できたので信頼が得られ、民間企業、地域団体等枠を超えた効果をあげ、成果物の質の向上に結び付いた。地域高齢者には助成金原資が長寿ポイント寄付金であると説明した所「基金として自分達の地域に還元され、役立っているという喜びがある」と言われた。完成地域報告会ではウォーキンググループの立ち上げ意欲を語る方や住民同士の外出声かけに活用する等の意見、学校教員からは「地域を知る授業や高齢障害者理解授業に活用する」とそれぞれ多様な具体的な利用案が発表され、ささえあい活動助成活動としての効果が生まれている実感があった。
その他	問8 自由意見